

サロベツ再生通信 2011.12発行 第14号

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
豊富町
環境省北海道地方環境事務所
北海道開発局稚内開発建設部
北海道宗谷総合振興局稚内建設管理部



「自然再生専門家会議」の現地調査が行われました

10月24・25日の2日間、全国の自然再生事業について審議し、助言などを行う「自然再生専門家会議」の現地調査がサロベツで行われました。

現地調査には、東京農業大学 進士名誉教授、日本生態系協会 池谷理事長、東京大学 大和田名誉教授、名古屋大学 大学院 辻本教授、早稲田大学 三浦教授が参加され、湿原の保全のために農地と湿原の境界に設置された緩衝帯や、サロベツ原生花園ビジターセンター跡地の植生復元の取り組みなどを視察されました。



有識者の方々からは、サロベツ湿原の自然や、農地と湿原の共存を目指す取り組みに感嘆の言葉をいただくとともに、今後よりいっそう地域の方々とともに取り組みを進めるようご意見をいただきました。



エコモーPR活動報告（町民文化祭に出展）

10月29・30日の2日間、豊富町民センターで開催された豊富町民文化祭に出展し、サロベツ・エコモー・プロジェクトのPRを行いました。当日は、ホッキ祭りの時と同様に「エコモーカフェ」と題して、手作りササ茶や、豊富牛乳を提供し、お菓子を食べながら展示を見たり、ゆっくりくつろげるスペースになるよう工夫しました。



展示は、各活動を紹介する写真やパネルを中心にしながら、サロベツの自然を紹介するDVDの上映などを行いました。大人の方々は、各活動で作られたアイヌ文様の刺繍やサロベツの花をテーマにした花札、DVD映像などに興味を持っていただいた様子でした。また、展示だけでなく子供のみなさんはサロベツの野鳥カルタを実際に見て遊んで体験をしていきました。2日間で延べ123人の方にお越しいただきました。

サロベツ・エコモー・プロジェクト2011の 研修会&活動報告会が行われました



11月23日にサロベツ湿原センターでエコモー研修会&活動報告会が開催されました。

エコモー研修会では、普段は開放されていない湿原センターの書庫やCO₂排出を抑制するための設備を見学するとともに、展示室を回りながら、50年以上もサロベツの自然を見つめてきた村元正己さんからサロベツ原野の変化やかつての体験などについてお話しをお聞きました。また、「サロベツ湿原センターを利用したエコモー活動を考えよう」と題したワークショップを行い、参加者から昔のサロベツを知る方の語り場をつくることや子ども達の自由研究に役立つイベントを開催することなど、ユニークで楽しいアイデアが續々と出されました。



午後からは、今年、サロベツを楽しみ、その魅力を伝える活動を実施した方々による活動報告会が行われました。

豊富高校と北海道大学の学生が観光客向けに自然解説などを行ったサプレんジャーの活動や、サロベツをテーマにした歌謡曲を探したサロベツ歌巡りの活動など、取り組みの視点や方法は違えど、サロベツを介した多くの人たちの繋がりが感じられる活動報告会でした。



サロベツ・エコモー・プロジェクトとは

サロベツの自然や文化を楽しむ活動を通して湿原と農業が共生する地域づくりを進めるためのプロジェクトです。「エコモー」とは、エコ(ecology=人間生活と自然との調和)とモー(牛の鳴き声)から作られた造語です。地域と自然が元気な、そんなサロベツにしていきたいという願いが込められています。

サロベツ湿原センター冬期開館のお知らせ

サロベツ湿原センターは冬期間も開館しています。スノーシューレンタルなども行っておりますので、ぜひご利用下さい。ご不明の場合は下記までお問い合わせ下さい。



<開館時間> 10:00~16:00 (11~3月)
<入館料> 無料 ※スノーシューレンタルは有料
<休館日> 月・火・年末年始(12/29~1/3)
<問合せ先> 北海道天塩郡豊富町上サロベツ
8662番地サロベツ湿原センター
(TEL) 0162-82-3232
(FAX) 0162-82-1009



「上サロベツ自然再生協議会」運営事務局 代表
〒098-4110 天塩郡豊富町大通6丁目 豊富町商工観光課
TEL: 0162-82-1001 FAX: 0162-82-2806
E-mail: saisei@town.toyotomi.hokkaido.jp

サロベツの自然再生については、
<http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/>
<http://sarobetsu-saisei.jp/>
もご覧ください。